

## 徳島県高校教育改革推進計画（ 8 年間の取組 ）

○ 多様な学びを可能にする特色ある学校づくり

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
新しいタイプの学校づくり	総合学科高校の設置	・新野高校，鳴門第一高校を総合学科高校に再編(H15)	・総合学科の教育活動等についての検証を実施(H19) ・検証を踏まえ，改善・活性化に向けた取組を推進
	単位制高校の設置	・新野高校，鳴門第一高校に単位制を導入(H15) ・城北高校，富岡西高校，板野高校に単位制を導入(H16) ・鳴門高校，川島高校に単位制を導入(H17)	・単位制高校（全日制普通科）の教育活動等についての検証を実施(H19) ・検証を踏まえ，改善・活性化に向けた取組を推進
	中高一貫教育校の設置	・城ノ内高校に併設型中高一貫教育を導入(H16)	・川島高校に併設型中高一貫教育を導入(H18) ・中高一貫教育校の教育活動等についての検証を実施(H19) ・検証を踏まえ，改善・活性化に向けた取組を推進 ・富岡東高校に平成22年度から併設型中高一貫教育を導入することを決定(H19)し，開校準備を推進
	総合型専門高校の設置	・総合技術高校（仮称）整備検討委員会(H14)，開校準備委員会(H17)等を設置し，開校に向けた取組を推進	・徳島工業高校，徳島東工業高校，水産高校及び徳島中央高校定時制夜間部工業科を統合し徳島科学技術高校を開校(H21) ・「鴨島商業高校・阿波農業高校の再編統合に係る計画」を策定(H20.3) ・「貞光工業高校・美馬商業高校の再編統合に係る計画」を策定(H21.3)
	昼夜間定通独立校の設置	・「昼夜間定通独立校整備検討委員会」で昼夜間定通独立校のあり方について検討し(H15～H16)，報告書を策定(H17.3) ・報告書に基づくソフト面での取組を推進	・徳島中央高校の現状に即した整備を検討するため，昼夜間定通独立校整備推進協議会を設置(H19)
	その他の新しいタイプの高校等の検討	・富岡東高校に5年一貫看護師養成課程を導入(H14)	・大学と高校の間で遠隔講義を実施(H18～)

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
特色ある学校づくり	特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オンリーワンハイスクール推進事業」の実施(H16～H18)</li> <li>・城南高校でSSH事業を実施(H15～H22)</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特色ある学校づくり実践事業」,「インターンシップ推進事業」の実施(H13～H15)</li> <li>・徳島北高校でSELHi事業を実施(H15～H17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オンリーワンハイスクール・パワーアップ事業」の実施(H19～H21)</li> <li>・名西高校で「SELHi事業」(H18～H20)と「学力向上実践研究推進事業(高校)」(H21～H23)を実施</li> <li>・富岡西高校で「SELHi事業」(H19～H21)と「英語教育改善のための調査研究事業」(H21)を実施</li> <li>・池田高校で「英語教育改善のための調査研究事業」を実施(H21)</li> <li>・「学力向上推進事業」の実施(H18～)</li> <li>・徳島商業高校,富岡東高校羽ノ浦校,富岡西高校,鳴門高校を「進路指導・学力向上重点校」に指定(H18～H20)</li> <li>・城東高校,阿南工業高校,鳴門第一高校,池田高校で「学力向上拠点形成事業(高校)」を実施(H18～H20)</li> <li>・阿南工業高校,川島高校,阿波高校,阿波西高校で「高校生夢・未来育成事業」を実施(H21～H23)</li> <li>・「教育・産業連携キャリアアップ事業」の実施(H18～H20)</li> <li>・小松島西高校(H19～H21),貞光工業高校(H20～)で「目指せスペシャリスト(スーパー専門高校)」(文科省指定事業)を実施</li> <li>・城西高校,三好高校で「地域産業の担い手育成プロジェクト(食・くらし分野)」(文科省・農水省)を実施(H20～)</li> <li>・産業界,教育界,行政の連携により「産業人材確保インターンシップ推進協議会」を開催し,「企業インターンシップ」等を実施(H21～)</li> <li>・「競技力向上スポーツ指定校制度」を導入(H18)</li> </ul>

○ 生き生きとした学びを可能にする魅力ある学校づくり

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
学校の適正規模及び適正配置	分校の募集停止	・木屋平分校，平谷分校，木頭分校，一字分校，祖谷分校募集停止(H15)	
	高校再編による魅力ある学校づくり	・日和佐高校，海南高校，宍喰商業高校を統合し海部高校を設置(H16) ・「高校教育改革再編検討委員会」で全県的な高校再編のあり方について検討し(H16～H17)，報告書を策定(H18.2) ・「高校再編方針」を策定(H18.3)	・「那賀高校の活性化に係る計画」を策定(H19.11) ・「鴨島商業高校・阿波農業高校の再編統合に係る計画」を策定(H20.3) ・「勝浦高校の再編・活性化に係る計画」を策定(H20.8) ・「鳴門第一高校・鳴門工業高校の再編統合に係る計画」を策定(H21.3) ・「貞光工業高校・美馬商業高校の再編統合に係る計画」を策定(H21.3) ・徳島工業高校，徳島東工業高校，水産高校及び徳島中央高校定時制夜間部工業科を統合し徳島科学技術高校を開校(H21)
生徒のニーズに応じた，魅力ある学校づくりのための再編整備	普通科教育	・城ノ内高校に併設型中高一貫教育を導入(H16) ・日和佐高校，海南高校の普通科を海部高校の普通科に再編(H16) ・城北高校，富岡西高校，板野高校に単位制を導入(H16) ・鳴門高校，川島高校に単位制を導入(H17)	・川島高校に併設型中高一貫教育を導入(H18) ・富岡東高校に平成22年度から併設型中高一貫教育を導入することを決定(H19)し，開校準備を推進
	専門学科教育 ・農業科	・「徳島県農業高校活性化検討委員会」を設置し，活性化に向けた取組を実施(H14～) ・「農業高校と農業大学校との連携推進事業」の実施(H14～H15) ・城西高校の農業科学類を農業科学科に再編(H16) ・阿波農業高校の農業科学類を農業科学科，園芸科学科に再編(H16)	・「鴨島商業高校・阿波農業高校の再編統合に係る計画」を策定(H20.3) ・「勝浦高校の再編・活性化に係る計画」を策定(H20.8) ・「農業教育活性化ワーキンググループ」を設置し，本県農業教育の活性化に必要な現状分析・課題抽出を実施(H21.7～) ・農業高校・農業大学校・農林水産部等による農業教育の活性化や連携等に関する意見交換会を開催(H19・H21)
	・工業科	・阿南工業高校の機械科，工業化学科，電気科，土木科，電子機械科を工業類に再編(H15)	・「鳴門第一高校・鳴門工業高校の再編統合に係る計画」を策定(H21.3) ・「貞光工業高校・美馬商業高校の再編統合に係る計画」を策定(H21.3) ・貞光工業高校の土木科，建築科を建設科に学科再編(H21) ・徳島工業高校，徳島東工業高校，水産高校及び徳島中央高校定時制夜間部工業科を統合し徳島科学技術高校を開校(H21)
	・商業科	・徳島商業高校の商業科，流通経済科，会計科，情報処理科を総合情報ビジネス類に再編(H15) ・宍喰商業高校の商業科を海部高校の情報ビジネス科に再編(H16)	・「鴨島商業高校・阿波農業高校の再編統合に係る計画」を策定(H20.3) ・「貞光工業高校・美馬商業高校の再編統合に係る計画」を策定(H21.3) ・県商業学会等の関係機関と連携して「商業教育活性化推進委員会」を設置(H21)し，本県商業教育の活性化策を検討

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
	・その他の学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富岡東高校に5年一貫看護師養成課程を導入(H14)</li> <li>・小松島西高校の福祉科を大学科として充実(H15)</li> <li>・新野高校の普通科，農業科を総合学科に再編(H15)</li> <li>・鳴門第一高校の普通科，外国語科，商業科を総合学科に再編(H15)</li> <li>・海部高校に数理科学科を設置(H16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城南高校に応用数理科を設置(H18)</li> <li>・徳島北高校に国際英語科を設置(H18)</li> <li>・水産高校の募集を停止し(H19)，徳島科学技術高校に海洋科学類，海洋技術類を設置(H21)</li> <li>・富岡西高校に理数科を設置(H21)</li> </ul>

○ 地域に根ざした、地域が育てる学校づくり

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
地域の小中学校・住民と力を合わせた学校づくり	マイスクール推進委員会の設置	・地域に支えられ、地域に開かれた学校づくりを推進するため、各高校を単位とする「マイスクール推進委員会」を設置(H14～)	
地域の教育力を活用した学校づくり	地域の優れた教育資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会人講師制度」を活用し、特別非常勤講師として社会人を配置</li> <li>・「地域の達人活用事業」の実施(H17～H18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話会社、県警察本部の専門家の協力を得て、児童生徒対象の「携帯電話安全教室」を実施(H19～)</li> </ul>
	「地域講座」の開設と単位認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外部講師招へい事業」の実施(H14～H16)</li> <li>・地域に対する理解を深めるため、地域の歴史・文化等を学習する「地域講座」を実施(H16～)</li> </ul>	
地域に開かれた学校づくり	学校評議員制度の導入	・全ての高校で学校評議員制度を導入(H14)	
	学校施設の開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド・体育館などの開放を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・災害時の地域の中核的な避難所として、県立学校体育館にトイレや温水シャワー室等を設置し、避難生活を支えられるよう「しっかり防災推進事業」を実施(H18～)</li> </ul>
	学校開放講座の充実	・地域住民等に対する学習機会の提供のため、高校における学校開放講座を開設	
	学校の教育方針・内容等の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に関する情報を保護者や地域に積極的に発信していくため、インターネットや印刷物等を活用した情報提供を実施</li> <li>・各校において新聞、便り等を配布し教育内容等の情報提供を実施</li> <li>・「中学生体験入学推進事業」の実施(H14～H15)、各校で体験入学を実施(H16～)</li> <li>・「とくしま教育の日」に合わせ公開授業を実施(H16～)</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校において教育方針等を掲示するホームページを開設(H15)</li> <li>・各校において「学校長への提言ボックス」を設置(H15)</li> </ul>	

○ 自らの適性・進路希望等に応じた学校選択システムの確立

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
募集定員設定の検討	公私の役割分担	・生徒の進学希望に配慮しながら県全体として適切な定員設定を実施	
	普通科，専門学科，総合学科の定員の割合	・社会の変化，生徒のニーズ，今後の高校教育や学科のあり方などを勘案しながら柔軟に対応	
	募集定員の設定	・生徒数の増減，生徒の進路希望，各校の学科の特性，収容人数等を勘案し対応	
入学者選抜方法の改善	受験機会の複数化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入学者選抜制度改善検討委員会」での検討結果をもとに入学者選抜の改善</li> <li>・受験機会の複数化である前期選抜・後期選抜を実施(H16～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度入試から新入学者選抜制度を導入することを決定(H21)</li> </ul>
	進路指導の改善と入試情報の適切な提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者選抜についての生徒・保護者向け冊子を作成し，入試情報を提供(H15～)</li> <li>・各高校のホームページで入試情報を提供(H15～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の情報を発信するため「高校ガイドブック」を作成(H15)</li> </ul>
通学区域のあり方	普通科の通学区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな通学区域を適用(H16～)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 通学区域は3通学区域とする。</li> <li>イ 併設型中高一貫教育校の城ノ内高校の通学区域を全県一区とする。</li> <li>ウ 学区外入学許容率は8%とする。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">専門学科や総合学科は，通学区域を全県一区とする。</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設型中高一貫教育校の川島高校に全県一区を適用(H18～)</li> <li>・第1学区の学区外入学許容率を10%に緩和(H19～)</li> </ul>
総合選抜制度の見直し	総合選抜制度の廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自己の能力・適性，進路希望等をもとに，各学校の特色や教育活動を評価した上で主体的に志願校を選べるよう，総合選抜制度を廃止(H16)</li> </ul>	

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
	総合選抜制度廃止後の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合選抜校は各校単独選抜を実施(H16～)</li> </ul>	
	総合選抜制度廃止に際しての条件整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスクール，参観授業，各中学校での進学説明会などの実施</li> <li>・各高校のホームページで入試情報を提供(H15～)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城東高校にコース制を導入(H16)</li> <li>・城北高校に単位制を導入(H16)</li> <li>・城ノ内高校に併設型中高一貫教育を導入(H16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城南高校に応用数理科を設置(H18)</li> <li>・徳島北高校に国際英語科を設置(H18)</li> </ul>
学習希望の変化等に応じた転学・転科制度の弾力化	ガイドラインの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県立高等学校における転入学・編入学及び転籍・転科の取扱いに関するガイドライン」を策定(H14.9)</li> </ul>	
基礎学力定着化の促進	基礎学力定着化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎学力定着化検討委員会」の報告書(H14)を踏まえ、「基礎学力定着化プロジェクト事業」を実施(H15～H17)</li> <li>・基礎学力調査等を実施するとともに「評価を生かした学習指導のあり方」を作成(H17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高等学校を通じた学力の向上を促進するため「学力向上推進事業」を実施(H18～)</li> <li>・「徳島県学校改善支援プラン」(H20.1)に基づいた取組を推進</li> </ul>

○ 教育諸条件の整備

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
教職員組織の活性化	学校長の裁量権の拡大	・入試に関する学校長の裁量権の拡大(H16)	・長期休業日等に関する学校長の裁量権の拡大(H18)
	教職員の資質向上	・「指導力不足等教員への対応システム」を実施(H14～H19)	・「優良教職員の表彰制度」を実施(H18～) ・「指導改善研修の実施に関する規則」(H20.4)を施行し、「指導が不適切である教員」の人事管理システムを実施(H20～)
		・「優秀な教員の表彰制度」を実施(H15～H17)	
	・新規教員の採用方法の工夫 ・改善	・採用試験の面接官に民間人を起用する等の改革を実施(H16～)	・「スポーツ特別選考制度」を導入(H18) ・一般選考受審者の年齢制限を40歳未満に引き上げ(H20) ・特別選考(職務経験又は教職経験を有することを要件とする選考)受審者の年齢制限を50歳未満に引き上げ(H21)
		・徳島北高校に民間人校長を採用(H15)	
・研修内容の精選・充実	・総合教育センターの開設に伴う研修内容の精選と充実(H16～)	・従来から実施されてきた「初任者研修」、「教職5年次研修」、「10年経験者研修」に、「授業力向上研修(3年次研修)」、「リーダーシップ養成研修」を加え、「教員ステップアップ研修」として研修を体系化(H18) ・「小中高英語教育連携講座」、「学校食育リーダー研修」、「学校食育コーディネーター研修」等で地域別の研修を実施(H20～)	
・教員評価システムの導入に向けての検討	・教員の評価に関する調査研究委員会において、教員評価の仕組み等について検討し中間まとめを作成(H16) ・一部の学校で管理職を対象に教員評価の試行を実施(H17)	・「新しい教員の評価(最終まとめ)」(H18.3)に基づき、県下すべての公立小中学校及び県立学校の管理職を対象に「新しい教員の評価」の試行を実施(H18～) ・一部の学校で教諭等を対象とした「新しい教員の評価」の試行を実施(H20～)	

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
	高校教育改革に対応した教職員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育改革に視点を置いた計画的な人事異動を実施</li> <li>・中学校，高等学校間の人事交流を実施</li> <li>・他の都道府県との人事交流を促進(H15～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員公募制の導入(H18)</li> </ul>
	副校長等の新たな職の設置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・副校長等の新たな職の設置(H20)</li> </ul>
	教員免許更新制の導入		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員免許更新制に関する説明会の実施(H20～)</li> <li>・教員免許更新制の導入(H21)</li> </ul>
施設・設備の充実	施設設備の計画的整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の進む県立学校校舎等を計画的に改築</li> <li>・計画的な耐震診断・改修の実施(H16～)</li> </ul>	
	情報化時代に対応した教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で利用できるデジタルコンテンツの拡充，校内LAN・教育情報ネットワークを有効利用するための研修や利用支援を実施(H16～)</li> <li>・校内LANの整備完了(H14)</li> <li>・教育情報ネットワークの構築完了(H16)</li> </ul>	
	地域住民等への学校開放を前提とした整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校の改築時（鳴門高校，小松島高校，城東高校，海部高校，城南高校，富岡東高校，徳島科学技術高校）において，地域住民等への学校開放を考慮した計画・整備を実施</li> </ul>	
学校評価システムの導入	学校評価システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価システム」の実践研究(H14)</li> <li>・「公立学校における学校評価に関するガイドライン」（徳島県教育委員会）を策定(H15)</li> <li>・全県立学校においてガイドラインに基づく「学校評価システム」を導入(H16)</li> </ul>	

推進計画	項目	前期期間(H14～H17)の主な取組	後期期間(H18～H21)の主な取組
特別な支援を必要とする生徒への対応	入学者選抜における配慮	・入学者選抜において障害のある生徒に不当な不利益が生じないように、受検者、中学校及び高校と十分な連携を図りながら適切な措置を実施	
	支援体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校を相談窓口とした教育相談支援を実施(H16～)</li> <li>・地域の学校の教員や保健、福祉、労働などの各関係機関の担当者が参加しての情報交換会や講演会を実施(H16～)</li> <li>・各学校に特別支援教育コーディネーターを指名し、コーディネーターを中心とした校内支援体制の構築と校内委員会の充実(H17～)</li> </ul>	
	特別な支援を必要とする生徒の理解を深めるための研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職、特別支援教育コーディネーターを対象とした研修を実施(H17～)</li> <li>・特別支援教育巡回相談員の派遣による校内研修の充実(H17～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別支援教育の在り方検討委員会」で特別な支援を必要とする生徒への教育の在り方や教職員の専門性向上の方策等について検討し報告書を策定(H19.3)</li> <li>・特別支援教育コーディネーターを中心に「個別の指導計画」の作成や授業の改善(H19～)</li> <li>・「『個別の指導計画を作成するために』を活用した校内研修の持ち方」をテーマとして、特別支援教育コーディネーター研修を実施(H20～)</li> </ul>
	高校と特別支援学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や授業を中心とした高校と特別支援学校との交流活動を継続的に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿高文祭において特別支援学校の生徒と高校生が合同で阿波踊りを披露(H20)</li> </ul>
民間活力の導入	県立学校と地域住民、企業が連携した新しい学校運営の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県立学校の管理運営への民間活力の導入に係る指針」を策定(H15)</li> <li>・民間活力を導入(H16)</li> </ul>	
国への要望	定数改善、施設設備の整備を促進するための財政支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校教育の推進に必要な教職員定数の充実」、「学校施設の地震防災対策の促進」、「高等学校における学力向上対策等に係る事業の拡充」等について国へ要望</li> </ul>	